東金市立西中学校　第３学年

羅針盤
－進路だより－

第１５号
令和８年１０月９日発行

来週の１６日（金）、第２回進路説明会を行います。今回は、出願の手続きや入試の日程など、これから実際に動いていくための大切なお話です。今号では、説明会の内容と、そのあとの三者面談で確認すること、面談までに見ておいていただきたい「募集要項」についてお知らせします。

■ 第２回進路説明会のご案内

日時	**令和８年１０月１６日（金）　１３：３０～１４：４５** ・受付　１３：１０～１３：３０
進路説明会の内容	**１　今後の進路に関する予定** ・入試は「私立前期 → 私立後期 → 公立」の順に進みます。公立が第１希望でも、私立の受け方が大切です。 ・私立高校の受験の形（単願・併願、推薦・一般）と、高校と中学校で行う「入試相談」について **２　入試手続きと日程** ・Ｗｅｂ出願の流れ（私立・公立）、出願に必要な書類、ご家庭と学校の役割分担 ・私立高校、公立高校、高等専門学校、特別支援学校などの入試日程 ・公立高校の学力検査の時間割 **３　その他** ・私立高校の推薦者が決まるまでの校内の手続き ・三者面談、提出書類、私立高校の入試相談など、今後の予定
当日お配りするもの	・説明会資料（推薦希望書、出願手続き申請書、県立高校の募集定員、私立高校の入試日程、Ｗｅｂ出願のご案内、就学支援に関するお知らせ　など） ・私立高校推薦希望書（様式Ａ・Ｂ）、調査書記載内容確認書　→　提出は１０月３０日（金）まで

■ 第２回三者面談　１０月２６日（月）～３０日（金）

確認すること	・９月の進路希望調査をもとに、これからの進路先について相談します。 ・**私立高校を受ける予定の場合：「どの高校を、どの形（推薦・単願・併願）で受けるか」**を決めます。１２月に高校と中学校で行う入試相談の準備になります。 ・公立高校だけを受ける予定の場合：第１希望に加えて、第２次募集などの志望校も確認します。 ・公立と私立を合わせた、受験の希望順位を確認します。 （例）①公立Ａ校　②私立Ｂ校（併願推薦）　③私立Ｃ校（併願） ・就職や専門学校を希望する場合は、具体的な進路先について相談します。
面談までに	・ご家庭で、志望校と受け方について話し合っておいてください。 ・私立高校の推薦を希望する場合は、推薦希望書（様式Ａ・Ｂ）を１０月３０日（金）までに提出していただきます。 **・受験を考えている私立高校の「募集要項」を、必ず確認しておいてください。（下をご覧ください）**

■ 私立高校の推薦基準は各高等学校の「募集要項」で確認しましょう

◆ 募集要項とは

高校が毎年出している、その年の入試の正式な案内です。入試についての約束ごとが、すべてここに書かれています。

・募集する人数、学科・コース
・入試の種類（推薦・単願・併願・一般）
・**出願できる条件（推薦の基準など）**
・出願の期間と方法、必要な書類
・試験の日、教科、面接や作文の有無
・合格発表、入学手続き、かかる費用　等

◆ どこで見られる？

・各高校のホームページ（「入試情報」「募集要項」のページ）
・学校説明会・個別相談会でもらえる資料
・中学校に届いているもの（進路室で見られます。担任または進路担当にお声がけください）

◆ 見るときのポイント

・**必ず「令和９年度」（今年度）のものか確認する。**
・基準は学科・コースごと、単願・併願ごとにちがいます。
・併願の場合は、入学金を待ってもらえる制度（延納）の有無と期限も確認する。

※推薦の基準（評定や欠席日数）を募集要項に載せていない高校もあります。その場合は、説明会や個別相談会で直接たずねるか、担任にご相談ください。基準の調べ方は第１１号にもまとめています。

◆ 参加するときのポイント　／　□ ご家庭へ

・個別相談では、推薦の基準に届いているかを相談できます。通知表など、評定と欠席日数がわかるものを持って行きましょう。
・説明会への参加が、推薦の条件や加点になる学校もあります。受験を考えている学校には、一度は足を運んでおくと安心です。
・ここにない学校の日程や、どの学校を見ればよいか迷っている場合は、担任または進路担当にご相談ください。
□　**三者面談で私立高校の推薦について確認します**。それまでに、気になる学校の説明会・個別相談会に参加しておくと安心です。

質問・相談などありましたら、進路担当　深澤まで